

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ギフト		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な療育を計画し提供している事。	毎回職員ミーティングを行い、支援内容の見直し、ブランドアップを行っている。	外部講師などの研修を入れ、職員全体の専門知識やスキルの向上を図る。
2	児発、放ディと共に保育所等訪問支援を行っている、多機能型であること。	通所での小集団での様子や、利用児の所属集団での様子を把握し、様々な機関と連携して支援を行っていること。	
3	職員が業務に対し意欲的で、向上心をもって取り組んでいる事	職員間でメンター制度を取り入れ、身近で指導、相談ができる体制を整えている	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員毎に経験や専門知識の差がある。	・日々の業務が忙しく、スキルアップや専門知識の研修の機会が不足している。	・2026年度は、職員研修を充実させる。
2	・施設の部屋数の不足、バリアフリー環境が無いこと等	・借用している建物で、療育施設として作られていないため	・2026年1月に新築移転を行う

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果							
事業所名	ギフト(児発)						公表日 2026年 1月 31日
		利用児童数	35名	回収数	27部		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5	1	2		2026年1月末より新しい建物での事業が始まります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3	0	3		ギフトの活動は「小集団」「個別療育」と、お子さんの支援に合わせた職員体制を構築しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	3		新しい建物に引っ越し後は、職員の担当を決めて環境整備に更に力を入れる予定です。ギフトの環境については、面談等で来所する際にご確認ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	3		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	2		お子さんへの支援の内容は、毎回hugnoteで発信しています。ご確認ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		支援計画の不明な点は、面談時に必ず確認ください。お子さんがどのような支援を受けているか、その結果をお家の方にも把握していただきたいです。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	3	3	5		隣接するハレルヤ保育園の園児とは、適時交流が行われています。ほとんどのお子さんが園舎の利用利用の為、ギフトの活動中の企画は行つていません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	3		ギフト利用開始時に、全てのお家の方に説明を行っております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1	0	3		今年度は3回の保護者学習会、茶話会を年間予定で計画しております。ペアトレは定期的に、参加を呼び掛けております。
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	25	2	0	0		利用日毎に個別にhugnoteでお子さんについての情報を共有しております。
	16 定期的に、面談や育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	0	0	1		支援計画作成時等や、必要が生じた際に、面談という形で支援を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	3		
	18 父母の活動や支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	0	0	2		保護者学習会、茶話会で家族ぐるみの交流が行われています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	0	1		適時対応を行っています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	1		一斉メールツール(hugnote)や電話での連絡手段を公示しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	2		自己評価は年度内1回、法人のホームページで公表しています。ギフトのインスタは多くの方に見ていただいているおります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	0	0		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	8		今年度も2回消防訓練を行い、その様子はギフト便りにて周知いたしました。マニュアルは、来所時に確認できるよう、紙面で事業所内に設置しています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	10		
非常時等の対応	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	3		毎月担当者による「安全点検」を行っています。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	0	0	2		事故や体調不良時の対応は適時速やかに行っております。お家の方には、緊急連絡がいつでもつながり、すぐに対応できるよう、体制の構築をお願いしております。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	3		ギフトではご希望されるお家の方には、適時見学を受け付けております。ギフトでのお子さんの様子や支援内容など、お家の方にこそ積極的に把握してほしいと思います。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	0	0		
満足度	29 事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	1		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ギフト（児発）				公表日	2026年 1月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・1人ひとりのスペースが確保されている	・現在の施設で少し狭いと感じる。新しくできる施設に期待したい	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・十分な配置ができている		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		・個別療育をする部屋数が足りないと感じる ・子供が使いやすいような工夫が必要	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・不要なものは置かない等、工夫できた		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・個室が用意されている		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎朝の打ち合わせ、夕方の振り返りが定着できた		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・支援計画に目を通していないものがある	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・毎日はじめに療育に関わる職員でプログラムを考えている。 ・毎日話し合う機会をもっている		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎日行っている		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・毎日行っている		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・ケース記録に出来事を記入し、今後の目標を作成する基礎にしている		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当が必ず会議に参加している		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・全ての学校と行いたいと考えているが、学校側の受け入れが難しい場合もある ・引き継ぎを行っている	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			・所在する市にセンターが無いため、隣接市のセンターと連携をはかっている	
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3		
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
保護者への説明等	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	1	・力不足な所があり、その場で適切な回答ができないことがある	
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・茶話会等企画している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0		
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・マニュアル化されていないものもある	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	・職員が業務命令により個々で研修を受けている。全体周知の為にミーティング等に取り入れていく	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		
			5	3		

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	ギフト(放デイ)							
公表日 2026年1月31日								
利用児童数 17名								回収数 8部
チェック項目								
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	1	ギフト便りやインスタで随時発信しておりますのでご確認ください。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思います。	8	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1	2	1	隣接するハレルヤ保育園の園児との交流は随時行っています。学校と併用されているので、あえて企画は行っていません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	1	0	全利用児に対して、利用開始時に説明を行っておりま。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	0		
保護者への説明等	15	日々から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいの向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	0	0	0		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1	0	1	利用開始時に写真等の顔出しの確認を保護者の皆様からうかがっております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1	今年度もギフト便りで、消防訓練の様子を発信しました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しんでいますか。	7	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	1		

事業所における自己評価結果						
事業所名		ギフト(放デイ)			公表日	2026年 1月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・新しい施設でさらに心地よい生活空間になると思う ・限られたスペースの中で、表示や分かりやすい場所を作る等の工夫をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・活動内容に掃除を入れる等、常に環境が整うよう意識している	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・その都度使用できる部屋を確認しながら、子供たちが自分自身と向き合える環境を提供できるよう意識している	・現建物では部屋数が限られている為難しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・毎日話し合い、ミーティングを行ってから活動している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」、「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・児童が満足し喜んで活動できるような支援内容を具体的に工夫し提供していると思う。 ・職員同士が意思疎通を図り、協力し合い児童に思いやりの心をもって向き合っていると感じる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・日々の打ち合わせで、互いに提案し共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・利用児の様子を見て、都度必要な活動を取り入れるようにしている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・個別活動の提供が難しいが必要とは感じている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・その日の内の振り返りが難しいため、用事津のミーティング時に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・必要に応じて子供を入れての面談等を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

		公表	保護者からの事業所評価の集計結果					
事業所名		公表日 2026年 1月 31日						
		利用児童数				回収数 1		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。				1		
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	1					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援を行なわれていると思いますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
	満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行なわれた上で支援が行われていると思いますか。	1				
27		こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				なかなか知ることのできない保育園の様子が伺え、子どもの成長や課題になる部分が見えてくるのでとても助かります。忙しい中時間を作り訪問して頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いします。	
28		事業所の支援に満足していますか。	1					

公表		訪問先施設からの事業所評価の集計結果				
事業所名 ギフト		公表日 2026年 1月 31日 利用児童数 2025年12月31日 回収数 8				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 園訪問記録では、私が気付かなかった様子に気付いてアドバイスくださり、わかりやすかったです。 支援目標がはっきりしているので、園でも取り入れやすかったです。トランボリンも購入しました。 常にわかりやすく、丁寧に教えてもらっています。 ギフトでの様子を細かく、わかりやすく教えていただき、共通理解を図ることができました。 送迎時のやり取りを密にていいけたらと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わかりやすい助言だった」というご感想ありがとうございます。今後ともわかりやすい伝え方を研鑽して参ります。 送迎は時間で動いております。「送迎時のやり取り」は内容にもよりますが、難しいことが想定されます。事前にご連絡をお願いいたします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 保育とは違うより専門的な知識からの支援はありがたかったです。 豊富な経験と知識から沢山のお話をいただき、勉強になりました。 放デイや就学に向けてのことなど教えてもらいました。 参考になりました。 学校でも取り組める支援方法をこれからも詳しく教えてもらいたいです。 	ギフトがもっている経験値や知識がお役に立てたこと、嬉しいと思っております。今後も研鑽して参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ギフトでの子供の姿を具体的に教えてくださるため、子供の状態を把握しやすい。 はい。 こちらからの質問に即答してもらっています。 	回答にはお時間をいたくこありますが、事業所内で検討して、必ず回答をすることを今後もしてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したこと、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ギフトさんでも個別の狙いに合わせた丁寧な活動で切り替えは成長したなど感じています。しかし、大人数での集団の中での課題はまだあるなど感じています。 担当の方の話を聞いて、なるほどなど思うことがあります。違う視点から専門的に見てくれるところに感謝しています。 療育を開始し、特性を踏まえた開り方や方針が明確になりました。又就学後の方向性も示していただき、保護者の理解を得られました。見通しも持てたことが良かったです。 子供の様子を伝え合い、共通理解できたことで保育の仕方や開り方の参考になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ギフトでの個別の開りが、所属先での集団の課題軽減につながるよう、今後とも協力させていただきます。 「共通理解」でお子さんへの支援が前進できました。 本事業はお家の方のニーズにより行われるため、支援期間についての情報発信をお願いいたします。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 担当の方々の毎回の訪問に感謝です。情報共有や、同じ目標に向かってお子さんと関わっていけることに、保育士も自信を持って関わることができます。 家庭訪問の内容もお聞きでき、子供・両親の理解が深められました。 通所している子の成長がみられ、1人1人の発達に合っている充実した活動が経験できていると感じています。 学校ではなかなか知ることのできないご家庭の考え方を教えていただくことができ、大変参考になりました。今後もぜひ情報をお聞きたいです。 利用児の様子や家庭とのやり取り等情報を共有し、すり合わせることができます。ごとらもお子さんやご家族との開りがしやすくなりました。体の使い方を教える方法として、本人の身体を動かしてあわると本人ができるようになると助言をいただき、実践したところ、すぐ1人で動けるようになりました。ありがとうございました。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援を開始するにあたってのサービス担当者会議では、ギフトと園の方針や子供に対する理解を擦り合わせたうえで保護者に伝えることができたら良いと思う。 これからもよろしくお願ひします。 ギフトさんの見学に行かせていただいた「療育ってこういう所」が分かりました。職員皆で共通理解されていて、方針がぶれない所はすごいなと感じています。 いつもありがとうございます。都合により所に戻らない時は、互いに声を掛け合って確認できること、より安心です。 いつもありがとうございます。これからも、よろしくお願ひいたします。 					<ul style="list-style-type: none"> 開始時の会議は、それぞれの方針や理解を確認する場です。所属先からは、今までの支援の情報を提供いただければと思います。 ギフトでの療育も見学いただき、その意味を捉えてくださったことに、感謝いたします。 本質問紙は「保育所等訪問支援事業」に関するものです。ギフトの体制へのご要望等は、ギフトへ直接書面等でご連絡ください。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ギフト(訪問)	事業所における自己評価結果			
			公表日 2026年 1月 31日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境体制・整備運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	9	2	・特に使用していない ・訪問の際、教具教材を持参したことがありません。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1		・1人1人の負担が多いように感じる
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	週1回、職員ミーティングで必要な情報を共有する場がある。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	年度内1回実施している	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	職員ミーティングで意見交換、面談などを実施している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	定期的に研修の案内がある	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	12	0	支援計画作成前に、保護者からニーズについてお伺いしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1	・園とのアセスメント会議をもっている ・職員全員で回観し、必要に応じて訂正、加筆をしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	12	0	支援計画作成前に、訪問先で会議を行い、その内容をもとにアセスメントを行って計画作成をしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	・ミーティング等を通して共有している	・共有されていないものもある
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	co-miiのアセスメントツールを使用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1		
関係機関	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	訪問前に「どのような様子を見てくるか」「会議で伝えるべきこと」を打ち合わせしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	訪問後にミーティングで必要事項を共有し、次の療育に生かせるようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	12	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	12	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	訪問実施後に家庭訪問をし、様子を伝えている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	12	0	・内容により必要機関との連携をはかっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0		

1) 保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	8	・自立支援協議会へ参加したいと思うが、年数の浅い職員の参加を促されるため訪問支援員は参加が難しい状況にある。 ・地域との関わりは少ないようを感じる。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・面談時や送迎時など、また連絡ツールを通して子供についてやり取りする機会は多い。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	・茶話会や行事、ペアトレ等、家族が情報を得る機会は多く、良いと感じる。 ・順番にペアトレの案内をしている。	
2) 保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・書面を通して面談等で説明は行えている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	12	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1	・子供の状況により、子供の思いも計画書へ盛り込んでいく必要を感じる。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	12	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	11	1	・連絡ツールや面談、電話対応などで、いつでも相談を受け付ける体制をとっている。	・その場で十分な回答ができていないことがある
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	・行事や茶話会等を催し、交流の場を提供している ・年に3、4回行事と共に保護者会を開催している。利用児の兄弟も参加可能である。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・インスタ、ギフト便りで定期的に情報発信を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	伝え方や言葉の選び方など、ミーティングで確認を行っている。	
3) 訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	12	0	・こまめな会議を持つことを心がけている	・その場で十分な回答ができていない感じる
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	12	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	12	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	12	0		・専門的な助言に関しては力不足な面がある
4) 非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	5	・マニュアル化されていないものもある ・策定できていないものもあるため早急に策定が必要	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	3		